

起稿文

定年後は黄金の10年 ②

家庭菜園を始めて5年が経過しました。

「気楽流素人野菜づくり」の当初目標は①自分が食べるので原則として農薬は使用しない。②出来るだけ多くの種類の野菜を育てて楽しむ。③退職して忘れやすくなったので写真を含めたデータを残す。④余裕があれば果樹栽培に挑戦。以上の4項目を念頭におき、夏場の作業は明るくなつてから朝食前迄、涼しい夕方から暗くなる迄を奮闘時間に設定しました。(冬場は暖かい時間のみ作業)

1年目は40坪ほどから始め、2年目は270坪に広げて野菜の種類も増えました。家庭菜園の本を参考にして、栽培のやさしそうな野菜から順次種まきや植え付けを行い、近所や親戚から貰った珍しい種や苗も含める

と40種類ほどになりました。

無農薬野菜は害虫に食べられ、肥料も少ないせいか見栄えが悪くて貧相な野菜です。収穫した白菜やキャベツにはヨトウムシや青虫がいますが、自分で育てた野菜は新鮮、安全で安心して食べられる良さがあります。3年目に新しく試みたのはゴマ、

趣味と実益と健康を兼ねた野菜作り

ハブ茶、ソバ、小豆(あずき)です。ゴマは収穫してからごみ除けなどの選別が大変ですが、国産ゴマは5%ほどしか販売されてないようで貴重品です。小豆は害虫被害のため3年続けて全滅し、豆の姿を見る事もなくなり収穫量が少ないので、手打ちソバにして食べられるのはいいことになることやら。

野菜だけでは物足らず果樹栽培にも挑戦しました。既存の8

種類の他に、梨、リンゴ、パイナップル等11種類を植えました。気温やもろもろの条件があり上手く育つかわかりませんが、手入れをしながら果物が収穫できる日を楽しみにしています。

野菜づくりの楽しみの一つはパソコン使用によるデータ管理です。野菜が40種類ほどになると、私の記憶力で管理するのは不可能で、それぞれの畑と畝

に名前と番号を付けてCADで図面化しました。野菜毎の数量と作業予定を一覧表にまとめ、作業実施の記録や反省をメモし、

来年の栽培計画への運用データとして使います。文字や数字は一見してわかりにくいので、定期的に写真撮影をして記録に残しました。昨年の事を忘れていても、日付の入った写真を見ると色々と思いだすことが出来るので貴重なデータとなります。写真でもわかりにくい場面は、ビデオ撮影に音声を入れました。

畑でビデオカメラを持ち、野菜に向かって実況解説する姿を、道行く人は異様に感じることでしよう。

関西でのサラリーマン生活では多くの人との出会いや付き合いがありました。今は雑踏のわずらわしさから離れ、スローライフを楽しみながら「簡素清貧、夫婦仲良く健康に」を motto にして過ごそうと思っております。「次回は野菜づくり番外編の予定です」

(寄稿者・福船 内村弘)

栽培データはパソコンやビデオカメラに記録して来年の参考にしています

